

「開会のご挨拶」

平成 27 年 3 月 18 日

テクノロジストコンサルティング株式会社

代表取締役社長 テクノロジスト

黒岩 暎一

皆様、今晚は・・・テクノロジストの黒岩でございます。
今回もお健やかにこの情報交換会へご臨席を賜りありがとうございます。

テクノロジスト育成塾は、一流の IT 活用のリーダを育成するコンセプトで 2007 年 10 月より第 1 期を開講し 7 年間実施しています。この 3 月までに 84 社、**561 名**の卒業生を数えるまでになりました。

本会は同窓会ですので、出来るだけ卒業生を中心にこの会の運営をお願いしております。今回、東京海上日動火災海上の**高津原淳（こうつはらじゅん）氏**に司会をお願いしております。

卒業生から、時折、うれしい手紙やメールを頂きます。本日は、2 編を紹介させていただきます。

(メール本文)

あいにく 3/18(水)は都合悪く参加できそうにありません。申し訳ございません。

以下、近況です。

育成塾で教わった「経営者へ手紙を出す」ことに挑戦したいと思っています。

本文は、ワープロで作成するにしても署名は、万年筆で自筆が必要です。

小職の手書き文字にはクセが有り、手紙を出すにもやや気が引けます。

せめて普通のレベルになりたく、今、長女と一緒に書道教室に通っています。

3 ヶ月目です。長女は毛筆。小職はペン字(万年筆)です。

ひらがなの「あ、い、う、え、お・・・」から習っています。

最近、相手に分かりやすい文章、読みやすい文字を書くには、「ひがらな」

や「カタカナ」の成り立ちや書き方のポイントを知ること大事だと気づきました。

目から鱗の日々です。長く日本人やっているのに日本語を正しく理解していないことを痛感。勉強の日々が続きます。(メール本文終わり)

もう一人は、昨年お手紙をいただきました。

(手紙本文)

育成塾で、一流の趣味をもつ意味に気付かされました。

私は入社以来、**仕事一筋**で、20年間美術館などへは一度も行ったことがありません。美術館に行ってみようと上野の美術館について調べました。すると、美術館や博物館が多くあり、びっくりしてしまいました。お恥ずかしいことに、そんなことすら知りませんでした。

まずは「自分の国のこと」について知ろうと思い、まず、妻と二人で「日本国宝展」に行ってきました。(実は、**妻と二人で出かけるのも数十年ぶり**です。)昔、教科書でしか見たことがない「金印」などの国宝を多数みることができました。

帰宅しての夕食時、妻と感想を話し合っていると、**子供たちも「なぜ、そんな所に行くの？」と興味を示しはじめました。まさに、私と私の家族にとっては「人生の転機」の育成塾でした。**ありがとうございました。(手紙本文終わり)

「経営者へ手紙を出す」、「美術館へでかける」また、本日、ご出席をいただいている経営者の方々に勇気を出して「話しかけてみる」、そんなことが「人生の転機」になります。それが「百考は一行に如かず」です。是非、一行をお勧めします。

【特別講演】

本日の特別講演は、日本郵政の小松副社長にお願いしています。今秋の上場を控えての超多忙のなか、時間をスクイズいただきました。私も皆さまと共にお話を拝聴できることを楽しみにしております。(小松様、よろしく申し上げます)

また、本日は、次回9月16日に特別講演をお願いしております、デュポン社の石岡常務、次々回にお願いしております日立建機の玉樹執行役員にもご出席をいただいておりますので、ご交流をお願いします。

この情報交換会は、「縁に出会って縁を活かす」生の情報を得る会です。

改めて良いご縁を作られ、良い交流をして頂けますようお願い致しまして私からのご挨拶とさせていただきます。

ご清聴、ありがとうございました。

(以上)